

ふれあい文芸 ば

平成26年3月1日発行 滝上町教育委員会

生涯学習広報



「ラフデッサン練習見本」

滝上小学校教頭 玉造 至 さん

今月の主な記事

滝上小学校開校百周年記念式典

たきのうえを思う

あなたもやってみよう

Jordy's コーナー・小栗 EYE

特集：-20度冬の滝上
「生涯スポーツと予防医療・健康づくり」
～クロスカントリースキーで冬を楽しもう～

第55回町民スノーフェスティバル報告

越知町児童交流事業受入報告

図書館・社会体育事業案内

HOTスポセン

ふれあい文芸コーナー

えんてい

今月の主な行事予定

- ・3月 3日（月） えぞまつ賞表彰式
- ・3月 9日（日） 歩くスキーの集い

3 No.261
月号

滝上小学校開校百周年記念・体育館落成記念式典

滝小での思い出そして百周年

滝上小学校 PTA 会長 小原 義弘

2月11日、滝上小学校開校百周年記念・体育館落成記念式典、祝賀会が多くの卒業生、児童、保護者、ご来賓のご列席をいただき、盛大に挙行されました。

多くの卒業生が見守る中、新装された本校体育館にて、前半の式典では感謝状の贈呈や「溪谷太鼓」「未来へつながるメッセージ」「全校合唱」と子供たちの「今」そして「未来」への決意が発表されました。後半の祝賀会では学校に現存するアルバムから当時の写真等を交え滝小の歴史をスライドショーで振り返りながら、滝小の百周年、体育館の落成記念を祝いました。

学校開校100周年記念・体育館落成



小原PTA会長の挨拶



改装された滝小体育館と児童・来賓

今回、協賛会長をやらせていただき、微力ながら保護者として周年行事に関われたことは素直に嬉しく、大変幸せなことだと感じました。というのも、30年前の開校70周年の式典に児童として出席していた自分が今回滝小の百周年に深く関わり、自分の母校の百年を祝えたことが自分の人生において忘れられない良い思い出を残せたことと、改めて家族の大切さを実感できたような気がします。

滝上町とともに生きてきた滝小はこれからも町を支え、町を造っていく人材育成の場としてこれからもかわらず多くの子供たちを育てることでしょう。私たちにできることは、多くの卒業生から受け継いだ意志を“滝っ子”に伝えていくこと、その子供たちがやがて私たちと同じ思いで多くの“滝っ子”に私たち卒業生の意志を伝えてくれることを心から願っています。



4年生による溪谷太鼓



全校生徒による合唱

たきのうえを思う



函館市在住
小田桐 智 さん

今年も滝上の方々から年賀状をいただきました。うれしいです。滝上を離れたのは平成14年3月、もう千支が一回りしました。月日がたつのは速いものです。平成8年春、北見南中から滝上中へ異動となりました。住宅が決まり、その住所を聞き、たいへん驚きました。「紋別郡滝上町字滝ノ上原野1線番外地」、原野？番外地？いったいどこに住むんだらうと不安になったものでした。電話番号にも驚かされました。当時電話番号は市外局番が6桁で市内局番は無し、町内にかける場合は4桁でした。こんな電話番号があるんだと初めて知りました。平成18年、滝上の市外局番6桁が国内で最後に4桁に変わると

聞いたときには寂しさを感じたものでした。

教師としてはたいへん未熟者でした。成長期・充実期にあたる中学校3年間はとても大切な、そしてかけがえのない期間です。この間に生徒たちの能力を十分に引き出して、本物の学習や生活に近づけるように指導するのが自分の務めだったはず。いろいろな反省しきりです。しかし何とか務めることができたのは生徒の頑張りはもちろんのこと、保護者や地域の皆様からのお力添えやご協力のおかげだと感謝しております。感謝を込めて、「生徒」・「保護者」・「地域」の思い出を振り返ってみたいと思います。

●感受性豊かな生徒

滝上中学校で勤務させていただいた6年間は今までの教師生活の中で本当に幸せな時間でした。思春期を迎え、反抗期真っ盛りの中学生なはずなのに、人間味にあふれ、素直な生徒がとても多いことに感動することが数多くありました。滝上町の子どもたちは豊かな環境のなかで生活していくことで五感を使い、自然に感受性を磨いているのだと思います。

滝上中でのたくさんの思い出が今も教師を続けていく原動力となっています。30歳の誕生日

に「味噌と痔の薬(三十路)」をもらったことは一生忘れない思い出です(笑)。

●支援を惜しまない保護者

中学校の行事で印象深いのは「廃品回収」と「運動会」です。「廃品回収」を初めて体験したときはそのスケールの大きさに度肝を抜かれました。25トトラック5・6台に新聞や空き瓶などの廃品があふれ、収益金も30万円を超えていたと記憶しています。それを支えていたのが、生徒の保護者の方々です。トラックの運転、廃品の回収・仕分けなど労力を惜しまず、生徒とともに一生懸命汗を流したことをよく覚えています。また「運動会」では朝早くから大きな声援を送っていた姿が印象的でした。焼き肉あり、お酒あり？と地域の大きなお祭りのようでした。雨で濡れたグラウンドに保護者が総出でおがくずをまいてくださり、運動会を何とか終えることができたことも忘れられない思い出です。

学校を支援することを惜しまないあたたかい保護者の方々に囲まれ、思い切った教育活動を行えたことが自分の財産になっています。

●心あたたかい地域

町内ソフトボール大会、三百歳バレーボール大会、ミニバレーボ

ール大会、パークゴルフ大会などたくさんの行事に参加させていただきました。仲間に入れていただけののがたいへんうれしかったです。大会の後は必ず反省会、おいしいお酒をたくさん飲ませていただき、楽しい時間を過ごすことができました。

地域の方々への教育にかけるの思いを知り、学校の意義、教師の存在価値を改めて考えることができた有意義な時間でした。たくさん勉強させていただきました。酒に強くなつたのは滝上町の方々のおかげです(笑)。

滝上町で6年間の生活でたくさんの示唆をいただき、成長することができました。滝上の地に根をしっかりと張り、ふるさとのために活動している人々と交流していく中で自分もふるさとを拠点として活動したいと思うようになりました。離れたい滝上ではありませんが、縁があって自分の生まれ故郷である函館市に異動させていただきました。現在は自分の母校(函館的場中)に勤務し、生まれ育った地域の子どもたちのために微力ながら努力させていたと思っています。

滝上のみなさまの今後のご健勝と滝上町のますますのご発展を心からお祈り申し上げます。

今年も子どもたちを連れて滝上に遊びに行こうと思っています。

あなたもやって ミント!?

～社会教育委員による訪問記～

町内で活動するサークルなどをご紹介します。
あなたも一緒に活動してみませんか？

ヨガ (Yoga)

「古代インドから伝わる 修行法ヨガの世界に 潜入レポート！」

毎朝の冷え込みが厳しい1月。編集部には1本の電話が鳴った。取材班は日頃運動不足が気になる社会教育委員のK氏を連れ現場に駆けつけた。そう、それはとても冷え・澄み切った空気の夜だった。

現場では、空飛ぶじゅうたんのようなマットと秘密のドリリンクを持つ参する美女8名が股関節の柔軟体操やアーサナ（姿勢）、プラーナーヤーマ（呼吸法）を学んでいる。それはまるで動物の姿勢そのものだ。

「刺激の余韻を感じつつ…」

冬になり若干ふくよかになったK氏は、突然美女を真似始めた！深い呼吸に合わせた独特の姿勢は、日頃の運動不足がたたるK氏にはとても辛そうだ。会員の美女たちはとてもしなやかな体で様々な姿勢を繰り返す。静寂に包まれたその空気をゆっくりとした呼吸はまるで瞑想を深めるともリラックスしたのとなっていた。（編集部）

しなやかで美しい会員のみなさん



ヨガ

開催日:毎週月曜日
時間:午後7時～9時
場所:文化センター
会員数:12名
お問合せは、文化センター(29-3735)まで
お待ちしております！

「ヘルスアップ・ヨガ」体験

毎週月曜の夜7時から、文化センター2階視聴覚室において行っているヨガを体験させてもらいました。普段は運動らしい運動もせず、体がなまっっているだろうと思いがながらもヨガくらい大したことはないとかをくくっていたのですが、約2時間に渡ってヨガを体験してみると結構つらく大変でした。ヨガはどちらかというと柔軟なポーズや忍耐力が必要なイメージがあります。ネットで調べてみると、そもそもヨガとは古代インドが発祥の修行法の一つでした。しかし、現代では姿勢や呼吸法を重視するものなど様々な種類が増えていて健康のためのヨガやスポーツクラブも多くなってきました。

ここで言うヨガも健康を維持するためのヨガで、「ヘルスアップ・ヨガ」といい、誰もが簡単に参加できるもので自分のレベルに合わせて無理せず自分の健康の維持増進に役立つものになっています。

今回の体験ヨガでは最初に呼吸のしかたを教わりました。鼻から大きく息を吸って、口から「フーッ」と音をだしながら吐くというのが基本の動作でした。今月のレッスンは「歪み直しヨガ」ということで特に骨盤の矯正を中心に指導していただきました。ヨガのポーズ

を左右一回ずつ行い苦手な方をもう一回行い左右がほぼ均等になるように矯正するというやり方でした。また、CDの音楽やお経のようなBGMを流して気持ちのリラックスさせたり、床に寝て部屋を真っ暗にし、心と体を癒す姿勢で休むことを体感しました。最後にはアロマオイルを膝から下に塗ってマッサージしてもらい（お互いにする）終了しました。

本日の体験を振り返ってみて、ヨガは初めての人でも簡単にでき、体調を整え健康の維持増進に役立つものとして最適かなと思いました。長いと思った2時間が短く感じましたし、次の日も爽快な気分と体調の良さを保つことが出来ました。是非、皆さんも一度試してみてくださいいかがでしょうか。（K記）



美容と健康にヨガーお勧めです！



滝上町外国語指導助手

Jordy's コーナー

私が住んでいたテキサスの冬の平均気温は 18℃です。父は冬でも週末ゴルフに出かけます。この冬、-29℃になったときは本当に驚きました。週末家を空けると、部屋の中に置いてある飲み物が凍ってしまうなんて初めての体験です。雪道の歩行も初めてなので慎重に歩きましたが、4 回も転んでしまいました。転んだときは周りに誰もいないか確認します。ゴミ投げのとき、ゴミを入れる籠の前で転んでゴミをばらまいてしまったこともあります。

雪はねはとても難しかったです。教育委員会の山室さんが車庫の屋根雪を下ろすのを手伝ってくれて本当に助かりました。除雪車が通った後の雪があんなに硬いとは知りませんでした。スコップを突き刺して、懸命に雪山を削りました。

この冬、私はスノーボードに挑戦しました。何度か桜ヶ丘スキー場でも滑りました。ローフトウはとても難しく、初めての時は何度も転んで青あざを作りました。桜ヶ丘では、滝上の子ども達やその家族と会い、声をかけてもらうのがとても嬉しいです。他にも、カムイやピアシリ、比布などのスキー場に行きましたが、私は初心者なので、短いコースで柔らかい雪のピアシリや比布スキー場が好きです。来年はスキーにも挑戦したいです。

1 月の終わりにNHKから取材を受けました。2 月 5 日の夕方のニュース見てくれましたか？滝上で初めての冬を体験する私の生活を撮りたいと、仕事の様子から雪道を歩くところ、料理をしているところ、スノーボードを滑っているところなど、いろいろ撮影されました。テレビカメラに撮られるのはとても恥ずかしかったです。

滝上の冬はとても厳しいけれど、この冬を乗り越えたことで、私を一回り成長させてくれたと思います。



節分には恵方巻を食べました。
願い事は「Happiness！」

どです。そして色々な飲み物や食品などがビン詰めされるようになります。これはビンの製造技術が進歩したことにもよるものです。日本酒はもともと樽詰で出荷され通い徳利(貧乏徳利)を用いた量り売りでしたが一升ビン詰めでの販売は明治 34 年の白鶴が最初といわれています。白鶴が北海道に販路を拡大したのは明治 40 年頃で昭和に入ると打栓機による王冠栓ビンに移っていますから、郷土館の一升ビンは大正時代の物と思われれます。中身と飲み終わった日本酒やサイダーの空きビンはその後も大切に使用されました。量り売りの醤油や苦汁の入れ物としたりランプの石油を入れたりしました。飲み物を入れて水筒にもなりました。

この機械栓の付いた白鶴のビンも空きビンとして重宝されたことでしょう。



資料：白鶴酒造提供



おぐり アイ

小栗EYE

郷土館管理人小栗さんに収蔵品の紹介や、それらにまつわるエピソードなどを紹介させていただきます！

「一升ビン」

生活歴史館の大ケースの中に青いガラスの一升ビンがあります。形は普通の一升ビンですが全体にエンボス(陽刻)のストライプ模様が入っています。普通紙のラベルが貼られるところには「白鶴」のエンボスがあります。このビンは兵庫県灘の銘酒白鶴の一升ビンなのです。随分古い物のようですがちょっとオシャレです。

このビンの栓は無くなっていますが「機械栓」というガラスか陶器で作られた栓を針金で密封するものです(開閉自在の栓です)。

ビンの栓は始め木やコルクの栓でしたが明治初期に機械栓が、中期に王冠栓が發明されて大正時代には各種栓が一斉に使われました。木栓、コルク栓、紙栓、機械栓、王冠栓、ネジ栓(内ネジ外ネジ)などです。そして色々な飲み物や食品などがビン詰めされるようになります。これはビンの製造技術が進歩したことにもよるものです。

特集：－20度冬の滝上「生涯スポーツと予防医療・健康づくり」

クロスカントリースキーで冬を楽しもう！

朝晩の厳しい冷え込みが続いた1月。冬休み中の子ども達は、朝から桜ヶ丘スキー場でアルペンスキーを楽しみ、北国ならではの冬の過ごし方を満喫していました。そんな厳冬期の滝上町では、クロスカントリースキーを楽しむ方々も多数いらっしゃるようです。早朝よりどこからともなくスキーを持参し、桜ヶ丘スキー場クロスカントリーコースに集い、それぞれが、思い思いのペースでスキーを楽しんでいます。その光景は、まさに楽しむことを目的とした「生涯スポーツ」のあり方と、「予防医療・健康づくり」という新たなスポーツの育みや営みをも感じさせるものでした。そんな、クロスカントリースキーを愛する、滝上町歩くスキー同好会の皆さんと滝西小学校の皆さんを取材して参りました。

編集部U

「生涯スポーツと予防医療・健康づくり」 滝上町歩くスキー同好会は毎日元気！

日本におけるスポーツの発展は戦後復興と東京オリンピックが契機といわれ、それ以前のいわゆる体育やスポーツは、富国強兵の政策一環として考えられていました。戦後、豊かになった日本ではスポーツは観戦するものから実践するものへと変化し、経済的・時間的な余裕のある現在においては、楽しむことを目的とした生涯スポーツとして実践されるだけでなく、予防医療という観点からもスポーツの活用が広く求められる時代となりました。それは、「いつでも、どこでも、だれでも」楽しむことができるものでないといけないのです。

クロスカントリースキーの魅力は、澄み切った空気を思いっきり吸い、それぞれのペースでゆっくり自然を満喫し、全身を使い運動できるところにあります。特に、滝上町のコースはとてもきれいに整備され、初心者にも安心してご利用頂けます。「うちらは各駅の鈍行列車だから！」と同好会の皆さん。3kmのコースには4箇所の休憩箇所を設け、スケーティングをしては休み、そしてまたスケーティング、というように思い思いのペースで楽しんでいました。「毎日沢山の友人と集うこと、そして適度にかく汗がとても気持ちよく、毎日2km～6kmのクロスカントリースキーを楽しんでるよ！」と同好会の皆さん。

夏のノルディックウォーキングと冬のクロスカントリースキーは健康維持にお勧めです！



ときどき休み、ときどきスケーティング。それもまた楽しい！



滝西小学校クロスカントリースキーの活用

～湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会を目指して～

滝西小学校では昔からクロスカントリースキーを体育授業で取り入れています。浮島峠から吹き付ける冷たい風を受けながら、5名の小学生がグラウンドで練習し、湧別町で行われるクロスカントリースキー大会で25kmの部上位入賞と完走を目指し日々練習に励んでいます。

北海道の児童生徒の体力低下が懸念される昨今ですが、滝西小学校におけるクロスカントリースキーの活用と運動体験は、体力と学力の向上だけではなく、自発性・主体性・自主性等、人間形成にも役立っていることは間違いないといえます。滝西小学校のみんながんばれ！



25km完走目指してがんばれ！

第55回町民スノーフェスティバル報告

2月16日(日)、桜ヶ丘スキー場にて、「第55回町民スノーフェスティバル」が開催されました。雪のちらつく当日は、クロスカントリースキー競技(距離競技)、アルペンスキー競技(大回転・滑降)の他、レクリエーション等の行事を開催いたしました。沢山の元気な幼児から中学生まで、冬の滝上町とスノースポーツを満喫しておりました。(競技結果は下記の通り)

距離の部	小学生3km	1位	西 遥歌	2位	藤村 葉月	3位	佐藤 陽依
	小学生4km	1位	関 唯真	2位	藤村 和来		
	一般男子	1位	関 隆行				
	一般女子	1位	佐藤 莉麻				
大回転の部	幼児男子	1位	山崎涼太郎				
	小学生ローレベル男子	1位	小森 結斗	2位	東 一成	3位	山崎啓太郎
	小学生ミドルレベル男子	1位	上野 颯	2位	大島 琉生	3位	星 明輝
	小学生ハイレベル男子	1位	星 司	2位	関 唯真	3位	池 翔空
	小学生ローレベル女子	1位	千頭 果鈴	2位	中川 和奏	3位	山本 羽珠
	小学生ミドルレベル女子	1位	古屋 綾奈	2位	山内 雛	3位	中川 真歩
	小学生ハイレベル女子	1位	田中 静花	2位	山崎帆乃夏	3位	藤村 和来
滑降の部	小学生	1位	山下 紗希				



越知町児童交流事業 交流の翼セミナー受入報告

2月13日～15日の3日間、友好交流町の越知町より44名の元気な児童が本町に来町されました。本町では自然探検やスキー体験、ソリ遊びやバナナボート等で冬季のスポーツを体験し、本町5年生11名と様々な交流を図りました。また、紋別市でのガリンコ号乗船と旭山動物園見学をした越知町児童は15日無事帰宅いたしました。

寒さを吹き飛ばす、交流体験の一部を写真で報告いたします。



13日はガリンコ号体験搭乗。



その他、流水科学センターで学びました。

～ 気温5度の越知町から、-15度のオホーツクへようこそ ～
越知町の児童は-15度でも皆元気です！



14日は早朝より自然探検（タオル回し等）と、再会のセレモニーです。



スキー体験と交流は大変盛り上がりました。滝上の児童は立派なスキーの見本ができました。



クライマックスはソリ滑りとバナナボート、スノーラフティング。



図書館・社会体育事業案内

本の内容を体験しよう ～ピザづくり体験～

「ピッツアぼうや」の読み聞かせと、ピッツアぼうやごっこ、そして親子で、またはおじいちゃんやおばあちゃんと一緒にピザをつくり、親子の交流を図りましょう！

- 期 日 平成26年3月15日（土）
- 時 間 午後2時～4時
- 会 場 文化センター ロビー・多目的実習室
- 講 師 近藤 志保子さん（幸町）
- 費 用 無料
- 申込締切 3月12日（水）
- お申込先 滝上町図書館 電話29-3735（担当：辻）



①小麦粉をふりかけて…



②きじを空中に飛ばして…



③サラミやチーズをトッピング！



歩くスキーの集い！

生活習慣病・成人病が懸念される現代。「いつでも、どこでも、だれでも」楽しむことのできる生涯スポーツが、予防医療・健康づくりの手段とし見直されております。

澄み切った空気を思いっきり吸い、季節の移り変わりを感じつつ、歩くスキーで皆さんと交流を深めましょう。初めての方大歓迎ですので、お誘い合わせの上ご参加下さい！

- 期 日 平成26年3月9日（日）
- 時 間 午前9時～
- 会 場 滝上小学校前集合
- コ ー ス 一区方面の雪原（約10km）
- 講 師 滝上町歩くスキー同好会の皆さん
- 費 用 無料
- 持 ち 物 歩くスキー用具一式（若干の貸し出し用あり）
防寒具、手袋、帽子、着替え、タオル、飲み物等
- 申込締切 3月7日（金）
- お申込先 教育委員会社会教育係 電話29-3735（文化センター 担当：水上）
- そ の 他 ゴール後に豚汁をご用意しております



HOT(ほっと)スポセン!

～冬のトレーニングルーム特別企画～

みなさんこんにちは！

1年で一番寒い季節ですね。
なかなか外で運動するのはち
よっと……。と言う方も多いの
ではないでしょうか？。

トレーニングルームでは特
別企画として「ランニン
グマシーンで歩こう走ろう
会」を開催中です。



▲ピコも頑張ります！

自分のペースで歩いたり、自
転車をこいだりして距離の合計
を競い合い、一番たくさんの方
を競い進んだ方には景品もご用意
してあります。

初めてトレーニングルームを
利用されるきっかけにされても
良いですし、自分の体をいじめ
たい？方でも結構です！

個人・団体と部門を分けてい
ますのでチームの参加も大歓迎
です。これを良い機会に肉体改
造やちよっとシェイプアップを
してみませんか？

なお、自分に合ったメニューが
分からない方には、トレーナー
と相談してメニューを提案させ
ていただきますのでお気軽にご
相談下さい。お待ちしております
!!

ランニングマシーンで歩こう走ろう会！

- 期 間 平成26年2月13日(木)～3月28日(金)
- 時 間 平日 火曜日 午前8時30分～午後1時30分、金曜日 午後1時～午後5時
夜間 水曜日 午後7時～午後9時、木曜日 午後7時～午後9時
- 対 象 町内外の一般成人、中高生
- 内 容 団体ランの部 (3人1組 職場・主婦・サークル・学生等)
団体バイクの部 (3人1組 職場・主婦・サークル・学生等)
個人ランの部、個人バイクの部
- 景 品 月間別で最も距離を歩いたり走ったりした方に入浴券を贈呈！！
- 目 安 1時間に歩く距離は約4～5km程度
- お申込先 教育委員会社会教育係 電話29-3735 (文化センター内 担当：水上)

〔スポーツ安全保険〕に加入しましょう！

スポーツ安全保険は、スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、指導活動等を行う団体や個人を対象に、その活動中に起きた事故について補償するものです。加入することにより、小さな掛金で安心して様々な活動が楽しめます。

平成26年度の保険期間は、平成26年4月1日～平成27年3月31日までで、平成26年3月1日から申込ができます。

※町内の小・中学校に通う児童・生徒は、教育委員会において本保険に加入します。

保険に加入すると…

- ・傷害保険：活動中と自宅との往復中に被った障害による死亡、後遺障害、入院、手術、通院など
- ・賠償責任保険：活動中と自宅との往復中に他人にけがをさせたり、他人のものを壊してしまった場合

加入対象者		補償対象となる団体活動等	加入区分	年間掛金
子ども	中学生	団体活動全般	A1	800円
	以下	団体活動全般及び個人活動	AW	1,450円
大人	高校生以上 (65歳以上も可)	文化・ボランティア・地域活動、団体員の送迎、応援、準備、片付け	A2	800円
		スポーツ活動、スポーツ活動の指導	C	1,850円
		子どもスポーツ活動の指導限定	AC	1,300円
	65歳以上	スポーツ活動	B	1,000円
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	

※お問合せ 滝上町教育委員会生涯教育課社会教育係 29-2111 (内線263)

ゲートボール 初心者教室 実施します！

3月13日(木)・14日(金) 午前9時～12時 スポーツセンター

講師：地域普及指導員、スポーツ指導員

冬場の運動不足解消のため、ゲートボールをはじめませんか？

多数のご参加お待ちしております。気軽にご参加下さい。

申込先：滝上ゲートボール協会 栄町：清野貞美 (29-3162)

ふれあい文芸コーナー

軒端に 干せし 渋柿の 凍るるまま
断水の 不意なる時の 恐さ知り
ほんのり甘き 香りを放つ
蛇口をひねるたびに感謝を

岩白 かづこ
江本 悦子

えんじゅ

我が町「滝上町」の3月は未だ雪深く、最低気温も時折マイナス20度に達する日がある、春とは言えない時期ではあります。しかしながら季節は世間並みに進み、各学校では卒業式、一般職場では年度末と、何かと慌ただしく忙しい時期でもあります。

今年度で言いますと、滝西小が去年の白鳥小に続いて3月末で閉校になります。人口減少に伴い児童数が減り閉校になるのは仕方ないのか？本町の過疎化は止められないのか？日本全体が人口減に向かっている現実の中で北海道の「ド田舎」でこれから何をしなければいけないのでしょうか？

自分たちが今までどう考えて来たか思い出すと、文化的、社会的、政治的どれを取っても札幌だったり東京だったりと都会を見ながら気にしながら過して来たのかなと思います。それを悪い事は言切りませんが、おかげで豊かで楽しい様な生活が出来る様になっています。しかし今まさに超高齢化社会を迎えようとしている日本。当然滝上町も今何をしなければイケないのか？何から始めるのか？何を変えるのか？そうです。今から変えていきましょう。「自分を！」周りが変わるのを待つのではなく、自分から変わっていきましょう。この春から変わった自分で生きていきましょう。行動にしなければ、言葉にしなくても良いから意識していきましょう。

ヒーマン